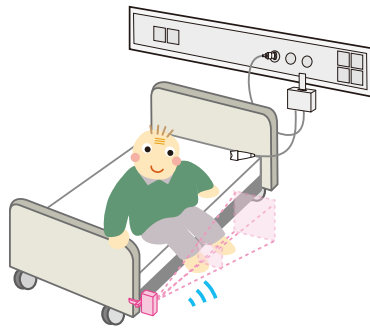




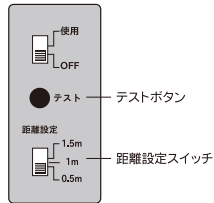
今月のテーマ 離床センサー(超音波・赤外線センサー)の KYT①

KYT(危険・予知・トレーニング)は、スタッフの危険予知、対応能力を高める目的で取り入れられる手法です。
それぞれのシーンでどんな危険があり、どんな対策が必要かぜひ考えてみてください。

超音波・赤外線センサー 検出範囲に入るとお知らせします!

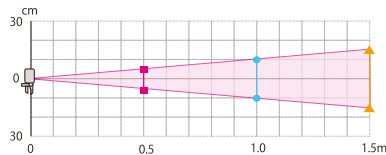


センサー側面

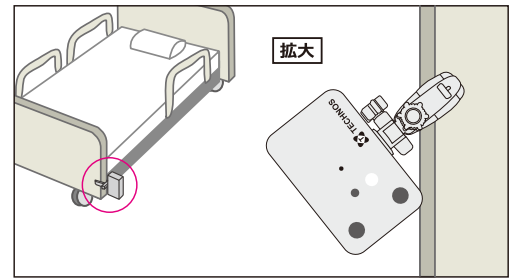


検知距離設定 (0.5、1、1.5m)

検知距離は3段階に設定できます。
検知距離は目安であり、設置環境により±0.3m程度のバラツキがあります。



case 1 ベッドフレームにセンサーを設置しています。
どんな危険がありますか?



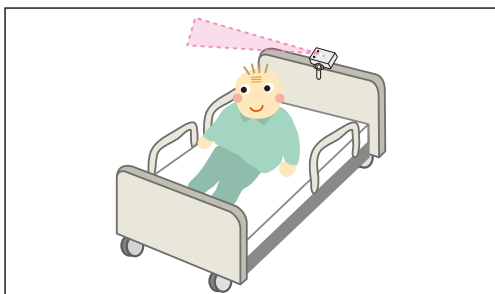
センサー落下の可能性があるため、設置方法を見直す。

対策

磁石素材のマグタッチを使用し固定するとずれることなく設置できます。

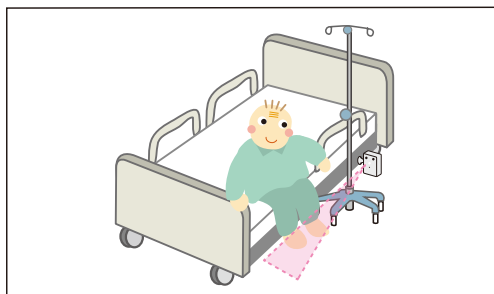


case 2 起き上がりを検知するためセンサーを設置しています。
どんな危険がありますか?



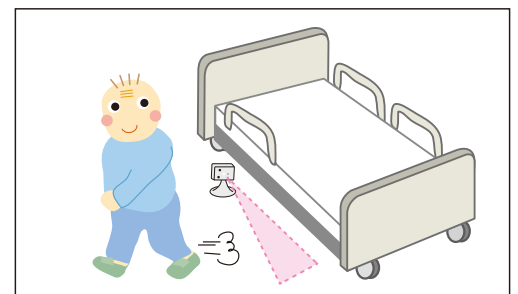
センサーの検知範囲が、患者の動きと合っていないので、検知せず報知しない。

case 3 立ち上がりを検知するためセンサーを設置しています。
どんな危険がありますか?



センサーの検知範囲に点滴台があるため、誤報または報知しない可能性がある。

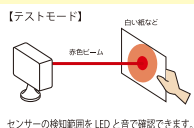
case 4 動きが速い患者にセンサーを設置しました。どんなことに気を付けるべきですか?



患者の動きに合った検知時間設定を行わなければ、報知しない可能性がある。

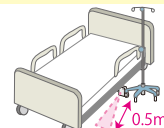
対策

設置する際、テストモードを利用し検知範囲を確認しながら設置をする。



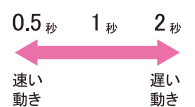
対策

距離設定：0.5m
マグタッチを利用し降り口に検知範囲を絞る。



対策

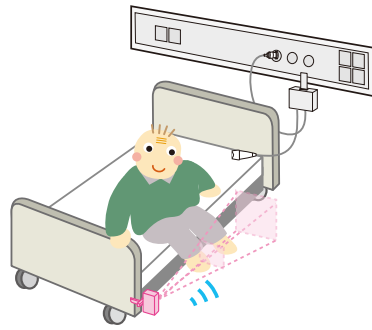
素早い動きには検知時間設定を「0.5秒」で!



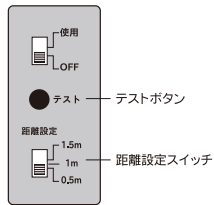


〈 離床センサー(超音波・赤外線センサー)の KYT① 〉

超音波・赤外線センサー 検出範囲に入るとお知らせします！

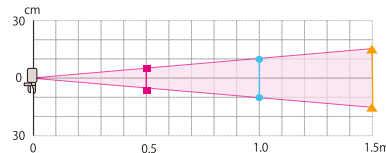


センサー側面



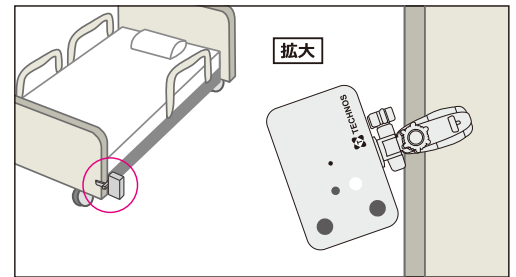
検知距離設定 (0.5、1、1.5m)

検知距離は3段階に設定できます。
検知距離は目安であり、設置環境により±0.3m程度のバラツキがあります。



case 1

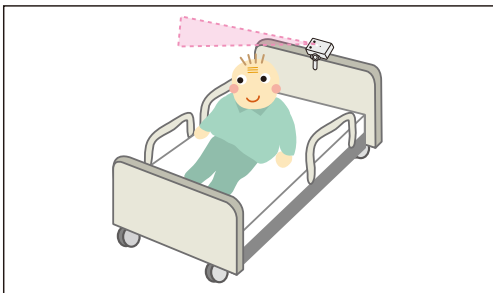
ベッドフレームにセンサーを設置しています。
どんな危険がありますか？



対策

case 2

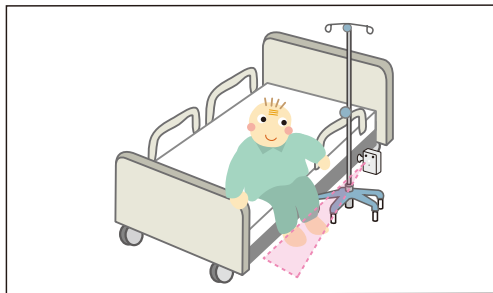
起き上がりを検知するためセンサーを設置しています。
どんな危険がありますか？



対策

case 3

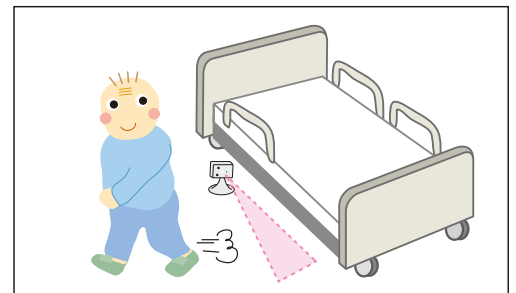
立ち上がりを検知するためセンサーを設置しています。
どんな危険がありますか？



対策

case 4

動きが速い患者にセンサーを設置しました。どんなことに気を付けるべきですか？



対策